



猪苗代湖～若松まで

煎、いり八田宗吉はったそうきちの名を聞きました。

この人の力をかりるしかない。と豊助は八田野をたずねました。突然の訪問ほうもんをうけた宗吉は、豊助をていちょうように迎むかえてこう言いました。

「いま、私が用水路を管理しているのは、私の祖先の内蔵之助のすけがこの用水を初めて手がけたからです。この水のおかげで、私たちの村も豊かになり、田もひろげることができました。でも、二百年もたっているのです、毎年の修理しゅうりだけでは間に合あいません。藩のお力で